

代 表 者
小 田

研 修 報 告 書

令和6年1月 26日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員

岡崎源太郎

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和6年1月15日（月）

2. 研修項目

地方議員研究会（議会から始める「自治体DX」） 東京都千代田区

3. 参加議員

岡崎 源太郎

4. 随行者

なし

■ 研修項目

【研修対応者】

講師 君島雄一郎
元国会議員秘書
㈱ICT推進部会 会長

【研修期日】

1月15日 14時から16時半

【研修目的】

議会にICT導入

【研修内容】

ICTを導入して、議会の効率化を推進するために、先進議会の導入事例を紹介しながら導入の説明があった。

- ① まずオンライン議会の説明があった。石川県輪島市のZOOMによる議会の実際の動画を見せていただいた。災害があった場合を想定して委員会から議決までをオンラインで実施していた。各家庭か事務所で、普段着で議会をしていた。今年初めの石川県の災害で、これまでのノウハウと実績が生かされることと思う。
- ② 360度カメラの説明があった。委員会中継のカメラを360度カメラにすると、視聴者が見たいところが視聴者の操作で見られるようになる。全体を見まわしたり、発言者にズームアップしたり、発言していない人の態度や机の上も見ることができた。カメラが向いていないと安心して漫画を描いていたりすると見られてしまう。
- ③ 横須賀市ではチャットGPTを導入していて、質問文作成の参考になる。試しに呉市の人口減の問題点をチャットGPTに回答してもらおうと、1、少子化 2、学生が帰ってこない 3、地価が高い の回答が出た。1と2はすぐにできるが、3は少し考えないと思えばならない。チャットGPTは多くの人の考えをまとめたもので、思考が広がって有効であると思う。また、長い質問文も要約できるし、箇条書きにもできる。質問に使えるし、答弁にも使える。マイクロソフトのチャットGPTは参考にしたソースまで表示してくれるので、さらに深堀ができる。質問内容をチャットGPTで調査させて、質問項目の漏れをなくすことができれば質問効果が高くなり、効率的になる。参考ソースがあれば調べるのに便利である。

【呉市での展開の可能性】

- ① 疫病、風邪、災害等考えるとオンラインも検討する必要がある。今年初めの災害が参考になる。
- ② 導入すると職員の操作が不要になる。視聴している人が飽きない。
- ③ 呉市は昨年 11 月からチャット GPT を導入した。しかし、使えるのは職員なので、議員は使えない。職員は議員の質問内容を予想し、模範解答までチャット GPT で作成できるが、議員は自分の頭で、自分の思考の範囲内でしか質問を考えることができない。議会でも思考範囲を広げるためにはチャット GPT が必要だ。質問の幅が広がる。